## 4. 健康で安心な村づくり

「基本目標」

健康で安心して暮らせる、元気な村づくり

みんなが健康で安心して暮らすため、生活基盤の整備や防災対策、生活弱者への支援や健康を保つための取り組みを進め、元気な村をつくります。

「重点戦略」

(1)自治会組織の再編と地域力の強化
(2)安全、安心な暮らしと防災対策
(3)健康で暮らせる生活の支援
(4)暮らしを支える生活基盤の整備

【重点戦略業績評価指標(KPI)】

| 主な施策 | 事業内容 | 基準値 R01 | 目標数値 R06 | R3年度(まで)の具体的な取り組み内容 | 実績値 | 自己評価 | 意見等 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)自治会組織の再編と地域力の強化 | | | | | | | | |
| 自治会組織の検討会の設置 | 自治組織のあるべき姿の確認と再編のための議論 | 未実施 | 検討会設置 R02年度 | R2行政懇談会の開催　問題提起<br>R3自治会選出役員等に係る懇談会の実施 | 懇談会の開催 | B | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。<br><br>自治会長は任期があるため継続して参加できるメンバーとした方がよい | 総務課 |
| | 再編のためのロードマップの作成 | | | 人口、世帯数減少に伴う課題を行政区ごとに把握する必要がある。引続き行政区に問題提起を行っていくが、今後は行政主導の編成とならないように進めていく。 | 自治会組織の統合1件(2行政区への支援) | C | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。<br><br>小さな行政区では高齢化のため意見を出してもらうのが難しい。ある程度行政側で主導してもらわないと進めないのが実情 | 総務課 |
| 安全、安心の地域づくり（コミュニティ活動） | 公共施設総合管理計画 に基づいた集会施設の統廃合・長寿命化を図りながら自治会の再編について研究します。 | | | R3年度より自治会組織のあり方について検討を始める。 | － | C | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。<br><br>小さな行政区では高齢化のため意見を出してもらうのが難しい。ある程度行政側で主導してもらわないと進めないのが実情 | 総務課 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域活動への補助、支援の見直し | 地域活動が自主的に行われるための支援の研究 | | 研究終了<br>R3年度 | 新型コロナウイルス感染症の拡大などもあり、具体的な要望調査をはじめとする<br>支援の研究について実施できていない。 | - | D | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 | 総務課 |
| | 自治会要望の進捗管理 | | 管理開始<br>R4年度 | 新規要望箇所の現地確認（R2～）<br>要望事項の対応状況をフィードバック（R3～）<br>進捗管理の一元化 | - | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |
| （2）安全、安心な暮らしと防災対策 | | | | | | | | |
| 外灯の点検、見直し | 外灯のLED化の推進 | 年間更新数<br>3箇所 | 年間更新数<br>5箇所 | R3年度に13区宮の森地区の7基、14区十王橋の2基をLED化 | 2ヶ所 | C | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |
| | 設置場所等の再検討 | | | 故障した個所並びに自治会・隣組から相談があった際に検討 | 3か所 | D | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。<br><br>効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 | 総務課 |
| 危険木の除去及び対応方法の周知 | 公的施設への危険影響箇所の把握 | | 補助事業<br>実施件数<br>10件 | 危険と思われる影響箇所をその都度把握 | 平均申請件数<br>5件 | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。<br><br>経済的に個人負担が無理な家への対応について検討を（自治会・ボランティア、村費等） | 産業振興課 |
| | 危険木撤去に関する啓発、具体的な対応方法の紹介 | | | 自治会長会の際に周知 | ― | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。 | 産業振興課 |
| 防災備蓄品の充実、計画的更新 | 災害に備えるため、自治会への防災備品購入補助の継続 | | 計画的実施 | R3年度に10区―1と19区で新たに防災倉庫の設置を行った。補助金についても5分の4の補助率で最大12万円までの補助制度を実施した。<br>村の防災倉庫にも長時間の避難になった際を想定し、栄養ゼリーと水の備蓄を行った。 | ― | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。<br><br>防災倉庫設置から数年たっており水や食料品は有効期限を迎えるものがある。このような物の購入について補助を出してもらいたい。 | 総務課 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 安全、安心の地域づくり（治山治水） | 治山、砂防、河川整備事業など、国、県に対し事業の促進を要望します。 | | | 要望活動を毎年実施し現場の確認もしてもらっている。<br>そのうち　青木沢、宮沢については事業化に向け計画がされ、河川内堆砂土の整備など進捗がされている。 | ― | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 建設水道課 |
| | 効砂防指定地の配備適正化及びその保全を図ります。 | | | 木曽建設事務所に要望しながら砂防指定地等の整備を行っている。令和2年度に杣沢砂防堰堤が完成し、令和3年度は宮沢川の調査に着手した。 | ― | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 建設水道課 |
| | 土砂災害防止法の制定による危険個所の指定と必要な対策を、住民同意のもとで進めていきます。 | | | 急傾斜地や砂防指定地等、危険個所解消へ向け、関係機関に要望しながら現地調査等を行い施設の設置等を行っている。 | ― | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 建設水道課 |
| | 危険個所へのパトロールを強化します。 | | | 実際に被災した箇所を中心に現地の状況を調査し、想定される災害の防止のため土砂撤去等の措置を行っている。 | ― | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 建設水道課 |
| | 倒木による沢筋崩壊と流失への対策を行います。 | | | 平成27年に小河川防災調査を実施し、毎年順次倒木の撤去を実施している。しかし、近年の局地的豪雨により実施済み箇所の小河川おいても豪雨の度、倒木等が広範囲で起きており人家等への甚大な被害が想定される箇所を優先的に行っている。 | ― | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 建設水道課 |
| 安全、安心の地域づくり（消防） | 現状に則した消防組織の整備を図り、常に最善の体制を構築します。 | | | R3年度に消防団の組織の見直しについて検討、現状では行事の実施は厳しいが火災発生時に一定数の団員が駆けつけられる体制であるため、引き続き検討していくこととなった。 | ― | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |
| | 防火水槽の計画的な設置、消防車両などの更新、消防施設の効率的整備と充実を図ります。 | | | R2年度に2台、R3年度に1台の消防車両の更新を行い、25年を経過する車両は無くなった。 | ― | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |
| | 多種多様な災害に対応した消防団員の技術向上と住民による初期消火体制の強化を図ります。 | | | 消防団員による消火栓設備の確認を強化 | ― | C | 施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。 | 総務課 |
| | 女性消防団員の勧誘と予防消防の普及を図ります。 | | | 村に居住する女性に対して、役場職員や女性消防団から声をかけて勧誘し、R2年度は2名、R3年度は1名の入団があった。 | R2:2名<br>R3:1名 | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 安全、安心の地域づくり（防災） | 総合防災訓練を定期的に行い、住民の防災意識の高揚を図ります。 | | | R3年度はコロナ禍で集合することが難しいため、地域をまとめる自治会長、消防団の情報伝達訓練を実施 | ― | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |
| | | 各地域における自主防災組織の設立と自助・共助意識の向上を図ります。 | | | パンフレットを作成し、周知。 | ― | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |
| | | 地域のニーズに適応した防災備品購入補助金の交付と継続的活用の推進により、地区の防災コミュニケーションの拡充を図ります。 | | | H29からR3年度まで自治会に防災倉庫設置と防災備品の備蓄に対して補助を行った。（R3年度は1,572,000円で、5年間で6，353，000円の補助を行った） | R3：1,572千円 | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。<br><br>防災倉庫設置から数年たっており水や食料品は有効期限を迎えるものがある。このような物の購入について補助を出してもらいたい。 | 総務課 |
| | | 避難施設、一般住宅の耐震改修事業を推進します。 | | | 実績なし | 実績なし | D | 施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。<br><br>避難施設は優先して実施してほしい | 総務課 |
| | | 雨量テレメーター、河川監視カメラなどの情報を活用して、住民にいち早く避難情報を配信するシステムを構築します。 | | | 8月豪雨の際に、H29より運用している機器や気象庁からの情報等を活用し、早めの避難情報を出すことができた。 | ― | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |
| | | 県内外市町村との災害時相互応援協定の締結並びに民間を含めた防災協定の締結により、災害対策コミュニティを広げます。 | | | R2に村内にある民宿と災害時の協定を締結 | ― | B | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。<br><br>ほとんどの村民が知らないと思うので周知が必要では？ | 総務課 |
| | | 災害時住民支え合いマップを定期的に見直すとともに、危機管理全般を網羅したハザードマップなどを整備し、住民が安全安心に暮らせるよう努めます。 | | | コロナ禍により集合することが難しかったため、この2年は実施できていない | ― | D | 施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。<br><br>マンネリ化している。新しい実施方法の検討 | 総務課 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 災害発生時における交通の確保について研究します。 | | | 木祖村建設協力会との協定により応急復旧について対応<br>令和2年、3年の豪雨災害時各所の土砂流出応急対応により村道での甚大な通行止めは回避されたが国道の通行止めが生じたことによる村道への迂回については課題である。 | ― | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 建設水道課 |
| | 安全、安心の地域づくり（防犯） | 防犯灯など、防犯設備の補助金を交付します。 | | | 自治会・隣組で設置を行う防犯灯に補助金を交付<br>R2年度5基117,164円<br>R3年度5基126,800円 | R2年度<br>5基　117,164円<br><br>R3年度<br>5基126,800円 | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |
| | | 関係機関との連携を密にし、青少年の非行防止に努めます。 | | | あいさつ運動やチラシ配布を実施 | ― | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |
| | | 防犯診断、防犯パトロールを実施します。 | | | 年に1回消防団による防犯診断、建設水道課職員が現場へ移動する際に防犯パトロールを実施 | ― | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |
| | | 広報活動を強化し、夜間、外出時の戸締まりや自動車のドアロックなど、防犯意識の高揚を図り、犯罪の発生を防止します。 | | | 広報誌、回覧による啓発を実施 | ― | C | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 | 総務課 |
| | | 小・中学生に防犯用品の携帯を勧めます。 | | | 全ての児童が防犯ブザーを携帯（民間事業者協力） | ― | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 教育委員会 |
| | | 小・中学校への訪問者の玄関口でのチェックを徹底します。 | | | 来訪者には職員室前で氏名等の記入をお願いしている | ― | C | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 | 教育委員会 |
| | | 電話やインターネットを利用した振り込み詐欺などの犯罪に対して、その心構えや対処方法を高齢者や青少年に啓発します。 | | | あいさつ運動やチラシ配布を実施 | ― | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 安全、安心の地域づくり（交通安全） | 交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践、習慣づけにより、交通事故防止の徹底を図ります。 | | | 広報誌、回覧による啓発を実施 | － | C | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 | 総務課 |
| | 関係機関との連携を密にし、青少年の非行防止に努めます。 | | | あいさつ運動やチラシ配布を実施 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |
| | チャイルドシートや後部座席を含めたシートベルトの着用を推進します。 | | | 年に2回、シートベルト着用調査、チャイルドシート設置調査を実施し、啓発を行っている。 | － | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |
| | 交通安全に対する広報活動を推進します。 | | | 人波作戦、広報誌、回覧による啓発を実施 | － | C | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。<br>。 | 総務課 |
| | 高齢者向けの講習会・安全教室などを開催し、高齢者の交通事故を防ぎます。 | | | コロナ禍により未実施 | 未実施 | D | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 | 総務課 |
| | 飲酒運転を撲滅します。 | | | R3年度は12月だけでなく千葉県の飲酒事故を受けた飲酒運転撲滅のための人波作戦を実施 | － | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |
| 一人ひとりが生きがいをもって暮らせる基盤づくり(社会教育) | 社会教育施設の老朽化に対応するため、地域の防災拠点となる施設であることも視野に入れ、他施設との整合を図りながら、修繕を順次実施し | | | R2年度に外灯LED化、R3年度に雨漏れ修繕工事を実施。R4年度はホール照明LED化と外階段の修繕を予定。 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 教育委員会 |
| 一人ひとりが生きがいをもって暮らせる基盤づくり(社会体育) | 社会体育施設の老朽化に対応するため、地域の防災拠点となる施設であることも視野に入れ、非構造部材の耐震化・修繕を順次実施し | | | 避難所に指定されている木祖村社会体育館の天井版撤去工事を実施した。 | － | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 教育委員会 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (3)健康で暮らせる生活の支援 | | | | | | | | |
| 公民館活動、サークルの支援 | 公民館活動への参加者拡大 | 参加者数<br>163人 | 参加者数<br>180人 | すくすく倶楽部との共催により多世代交流、物づくりや農業といった体験型講座を軸に開催した。R3年度は188名参加(すくすく子ども数は除く)。 | R3年度<br>188名参加 | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 教育委員会 |
| | 公民館サークルの拡大 | サークル数<br>38 | サークル数<br>40 | コロナ禍により活動休止となっているサークルも多いが、R3年度登録数は41サークルであった。 | R3年度<br>登録数41<br>サークル | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 教育委員会 |
| 健康寿命を延ばすため、健康教室、介護予防教室の推進 | 各種検診の受診率向上 | 平均受診率<br>68% | | がん検診平均受診率79.3% | 74.4→78.3<br>→79.3 | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | 健康増進のための取り組み、予防活動の推進 | 高血圧罹患率<br>44.5% | | 高血圧罹患率33.3%<br>コロナの影響により受診者が減少したが、高血圧疾患の方の受診も減ったため全体的に疾患率が下がった。 | 42.9→53.8<br>→45.3 | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | 被保険者に対し、特定健康診査・特定保健指導を中心とした保健指導を強化し、健康への意識向上と疾病の予防を図ります。 | | | 令和3年度より、特定健診受診費用を無料化した。結果報告会では、適酒指導も実施し、健康意識の向上に努めた。また3年連続未受診者に対して、受診勧奨を実施した。 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | 医療費通知の実施により、多受診、重複受診などの抑制に努めるほか、ジェネリック医薬品の普及促進を行い、医療費の適正化を図ります。 | | | 多受診、重複受診の被保険者に対しては定期的に対象者の有無を確するとともに、該当者には適宜情報提供をしています。<br>後発医薬品使用促進事業目標を設定し、後発医薬品の普及促進を図っています。 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | 健康教室の開催 | 新規参加率<br>15% | | 介護予防分　29.6%(新規16人/54人)<br>健康づくり教室　26.0%(新規6人/23人) | 17.1→23.8<br>→26.0 | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | 健康教室の開催<br>(介護予防分) | 新規参加率<br>15% | | 介護予防分　29.6%(新規16人/54人) | 17.1→23.8<br>→26.0 | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生活支援体制整備<br>支え合いの推進 | 新設施設の活用と利用拡大 | | 利用者数<br>3,000人 | R3より利用開始された幸せテラスまめのわについて、フィットネスルームの活用開始、元気づくり支援金を活用した周辺緑地整備等を行った。フィットネスルームは10月1日に利用を開始し、オンライン予約システムを活用しR3中は個人・団体合わせて1,873名が利用した。周辺緑地整備は西側のブロックを住民参画により芝生貼付け作業を行った。 | 2,780人 | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | 住民の活動の共有、発信 | | 広報紙<br>年1回発行 | R2年度には社協の生活支援コーディネーター独居高齢者等を2回訪問し、コロナ禍での生活状況を確認するとともに、感染症予防、フレイル予防について伝えた。また出張サロンを2回実施した。3月には、木曽ブロックボランティア地域活動フォーラムを通して、木祖村における「コロナ禍でも途切れなかったご近所のつながり」について紙面発表できた。R3年度には生活支援コーディネーターがR3.10から2人体制になり、新型コロナウイルス感染症の影響の中、どのように木祖村の地域の支えあいをはじめとする日常生活上の支援体制の充実、強化を図っていくかを話し合ってきた。令和4年度は関係者と話し合いの結果、生活支援コーディネーターによる3回目の戸別訪問、集まっている場への訪問、関係者の学習会、教育現場での啓発などを計画している。 | － | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | ウォーキングをはじめとした健康増進活動や食生活の改善及び酒類の飲みすぎ防止により、高血圧、虚血性心疾患などの各種疾病予防への意識を高め、ポイント制導により村民が行動しやすい健康づくりの推進に努めます。 | | | インターバル速歩およびノルディックウォーキング教室を開催し新規参加者の獲得に努めた。特定健診の結果報告として、適酒指導および生活習慣病の個別指導を実施した。健康ポイント事業を実施し、昨年度よりも申請者が増加し、各種健診への利用率も上昇した。 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一人ひとりが生きがいをもって暮らせる基盤づくり（保健衛生） | 村民のニーズにあった健康教室、健康相談、食育に関する講習会などの保健事業を開催し、健康づくり、健康意識向上や介護予防に役立て、健康寿命が延びるよう | | | 感染拡大状況に応じた感染対策を行い、各種教室を開催し、健康意識向上や介護予防に努めた。 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | がん検診を始めとした各種検診の無料重点年齢拡大等による受診率向上に努め、疾病の早期発見、早期治療に結びつけるよう努めます。 | | | 節目年齢への無料がん検診を実施した。特定健診及び後期高齢健診の無料化を実施し、受診者が増加するよう努めた。 | － | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | うつ病など精神疾患の早期発見・早期治療に結びつけるため、啓発活動を行います。 | | | 隣組回覧などで相談先を周知すると共に、精神保健福祉士による心の健康相談を毎月実施し、早期発見・早期治療に努めた。 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | 各種機関と連携し、任意予防接種の拡大等による継続的な子育て支援を行い、保護者の不安や経済的負担の軽減に努めます。 | | | 無料で利用できるオンライン相談事業を開始するなど、現状とニーズに対応した支援策を展開してきた。 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | 子どもの頃から、健康への意識を高揚させるため、小・中学校との連携を図ります。 | | | 学校保健連絡会はコロナの状況で中止となったが、継続実施していきたい。 | － | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| 一人ひとりが生きがいをもって暮らせる基盤づくり（医療） | 被保険者に対し、特定健康診査・特定保健指導を中心とした保健指導を強化し、健康への意識向上と疾病の予防を図ります。 | | | 令和3年度より、特定健診受診費用を無料化した。結果報告会では、適酒指導も実施し、健康意識の向上に努めた。また3年連続未受診者に対して、受診勧奨を実施した。 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | 医療費通知の実施により、多受診、重複受診などの抑制に努めるほか、ジェネリック医薬品の普及促進を行い、医療費の適正化を図ります。 | | | 多受診、重複受診の被保険者に対しては定期的に対象者の有無を確するとともに、該当者には適宜情報提供をしています。<br>後発医薬品使用促進事業目標を設定し、後発医薬品の普及促進を図っています。 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |

(4)暮らしを支える生活基盤の整備

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 公共交通の利用促進 | 公共交通の利用促進のための告知パンフレットの作成<br>乗り方教室の実施 | | 利用者数<br>バス<br>毎月<br>1,000人以上 | 公共交通ガイド及びバス時刻表一覧を作成し、村民の方に配布を行った。<br>バスについては、降雪による冬季の利用増はあったものの目標の月利用1,000人には届かなかった。またデマンドタクシーはドアtoドア方式で予約すれば使いたいときに使えるといった利便性や交通ガイドの効果もあり、目標を達成することができた。<br>R3年度に公共交通の再編を行ったため、乗り方教室は未実施である。<br>R4年度は、上記再編の試行運行期間であり、R5年度の本格運行に向けて再度時刻表を作成予定である。その中で利用方法を明記して、周知していきたい。 | 月平均<br>R2:832<br>R3:971 | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。<br><br>利用方法のパンフを年数回程度配布したらどうか | 総務課 |
| | | | デマンド<br>毎月<br>400人以上 | | 月平均<br>R2:553<br>R3:668 | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。<br><br>利用方法のパンフを年数回程度配布したらどうか | 総務課 |
| 駅のバリアフリー化の研究 | 藪原駅バリアフリー化のための方法の研究 | | 研究終了<br>R3年度 | JRに要望を挙げた以外は、具体的なことは実施できていない。 | － | D | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。<br><br>社会基盤として必要ではあるが電車(JR)が対応できなければならない | 総務課 |
| 災害時の停電対策 | 停電の際に必要な対応の研究 | | 研究終了<br>R3年度 | 研究は実施できていない。<br>災害時の避難所や現場本部で使用するための大容量ポータブル電源を3台購入。 | － | D | 施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。<br><br>研究は困難が予想される。費用対効果の検討が必要では？(ポータブル電源) | 総務課 |
| 買い物弱者支援の研究 | 村内での移動販売車などの可能性の研究 | | 移動販売車もしくは移動手段の確保 | 新型コロナ臨時交付金を活用した移動販売車の導入を商工会商業部会に提案をしたが、現実的には難しいとの判断から研究を断念した。 | 検討会を実施 | B | 買物弱者支援は大事です。<br>村の商工会頼りでは解決できないと思います。村独自でやるべき。<br><br>やぶはらタクシーと連携して行うことはできないのか。 | 産業振興課 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生活インフラの整備 | 修繕が必要な道路橋の修繕実施率 | 修繕実施率<br>33% | 修繕実施率<br>100% | 橋梁点検を行いながら修繕が必要な橋梁と判定された橋梁を優先的に修繕を実施しており、判定Ⅲの14橋の内、2橋の修繕が終了し1橋工事中である。残りの橋梁については計画的に修繕していく。 | 対象　14橋<br>完了　3橋<br>施工中　1橋 | C | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。<br><br>優先順位をつけて計画的に実施すべき | 建設水道課 |
| | 老朽化した水道管の更新 | 老朽管延長<br>15,232m | 老朽管延長<br>14,192m | 薮原浄水場の建設工事を優先的に行なっているが、R3年度は小木曽地区細島配水管布設替工事を実施し、少しずつではあるが布設替工事も行なっている。 | 14,752m | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 建設水道課 |
| | 国道19 号の迂回路として、(主)県道奈川木祖線の改良、整備促進を県に要望します。 | | | 期成同盟会の活動により要望活動を実施した。木祖村側については改良事業も進み、別荘管理棟から松本市境界までの改良の実施についても進捗されている。<br>また整備を促進する住民の会の活動も始まり、災害による崩落箇所の早期復旧の要望等も行っている。 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 建設水道課 |
| | 薮原交差点などの改良や雨量規制区間の解消など、国道19 号の整備促進を国に要望します。 | | | 薮原交差点について事業が完了し、国道19号薮原改良についても事業化がされ工事が始まった。今後も工事の早期の進捗について要望をしていく。 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 建設水道課 |
| | 村道の維持・管理について、行政と住民の協働による維持・管理を行います。 | | | 行政区と連携し主要村道沿いの草刈り等を行っている他、資材支給事業により小規模な修繕工事等も行っている。 | － | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 建設水道課 |
| | 道路施設の長寿命化を図るため、地元要望などを勘案し計画的に保守修繕、更新を行うとともに住民の協働による維持・管理施策を継続します。 | | | 道路においては目視等により破損状況等を把握し修繕を行っている。橋梁においては第2次計画に基づき橋梁点検を行い、結果に応じて修繕計画を立て行っている。 | － | C | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 | 建設水道課 |
| | 上下水道施設の老朽化にともなう計画的な施設更新を行い、効率的な業務運営を目指します。 | | | | | | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 建設水道課 |
| | 「高齢者福祉計画」に沿った事業を展開します。 | | | 概ね達成。具体的には下記のとおり。計画の事業内容が下記のとおりなので、本項目は不必要と考える。 | － | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 一人ひとりが生きがいをもって暮らせる基盤づくり（高齢者福祉） | 高齢者が要介護状態となることを予防し、要介護状態を重症化させないための運動機能向上、認知機能向上、低栄養予防、口腔機能向上など各種介護予防事業を展開します。 | | | ・介護予防事業について、令和2年度より新型コロナ感染予防のため、人数を制限したり、食事を中止したりするなど適応し実施。令和3年度は1回あたりの参加者は令和2年度より増加し、新規参加者の割合も15%を超えた。また高齢者の内で参加されている方の方が参加されていない方よりも、要介護認定申請の割合が低いという結果が出ている。<br>また令和3年度、幸せテラスまめのわが開所し、フィットネスルームを利用した教室を検討し、福祉係、教育委員会と連携する中で、10月からオーバー65のマシントレーニング部を開始。 | － | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | | 一人暮らしになっても、要介護状態になっても、木祖村において自立して住み続けられるよう、在宅生活を包括的、継続的に支援する生活支援体制や生活を支えるサービスを提供できる体制を推進します。 | | | ・生活支援体制整備について、令和2年度には社協の生活支援コーディネーター独居高齢者等を2回訪問し、コロナ禍での生活状況を確認するとともに、感染症予防、フレイル予防について伝えた。また出張サロンを2回実施した。3月には、木曽ブロックボランティア地域活動フォーラムを通して、木祖村における「コロナ禍でも途切れなかったご近所のつながり」について紙面発表できた。令和3年度、生活支援コーディネーターが10月に2人体制になり、新型コロナウイルス感染症の影響の中、どのように木祖村の地域の支えあいをはじめとする日常生活上の支援体制の充実、強化を図っていくかを話し合ってきた。 | － | B | 施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。<br><br>村の高齢化増々進みます。いろいろなノウハウを蓄積して対応力を増して行く事が大切です。 | 住民福祉課 |
| | | 高齢になっても、地域とつながりを持ち、生きがいを持って過ごせるよう、老人クラブや地域での集まりなど、参加できる・活動できる・働ける場をつくります。 | | | 内容4は、新内容2「だれもが、世代関係なく人とつながり、役割をもって、社会に参加していくことを推進します。またいくつになっても、生きがいを持って活動していくことを推進します。」とする。 | － | B | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 | 住民福祉課 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 誰もが常に交流でき、生活しやすいよう、福祉タクシー・福祉有償運送といった交通網などの環境整備や、交流の拠点となる社会福祉施設建設について具体化していきます。 | | | この課題については、内容3に含め、施設の利活用を推進する。 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。<br><br>村内の移動はデマンドタクシーをもっと有効活用させる | 住民福祉課 |
| | | 保健と福祉の連携だけでなく、地域包括支援センターを中心に、自治会、医療機関、社会福祉協議会、民生児童委員協議会や各種関係団体との連携を図り、より充実した取り組みとなるよう努めていきます。 | | | 民生児童委員会、自治会、老人クラブ、社協、医療機関、その他関係機関とは通常時、必要時、連携を図ってきたが、幸せテラスまめのわが開所し、社協、奥原医院、役場が地理的にも近くなり、以前より連携が図れるようになった。今後も高齢者福祉は、保健と福祉の連携だけでなく、自治会、医療、社会福祉協議会、地域包括ケア、民生児童委員協議会や各種関係団体との連携を図り、より充実した取り組みとなるよう努めていきます。 | － | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | 一人ひとりが生きがいをもって暮らせる基盤づくり(障がい者福祉) | 「障がい者福祉計画」等に沿った事業を展開します。 | | | ｺﾛﾅ禍により、計画に沿った取り組みが出来ていない。 | － | C | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 | 住民福祉課 |
| | | 地域生活を拠点とするための支援として、グループホームやショートステイの施設整備を進め、サービスがさらに充実できるよう進めていきます。 | | | ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ建設候補地の検討を重ねてはいるが、決定には至っていない。 | － | C | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 | 住民福祉課 |
| | | 木曽圏域自立支援協議会での協議の元、障がい者が福祉サービス状況などを総合的に相談できる障がい者総合支援センター「ともに」と連携を深め、支援体制の強化に努めます。 | | | 障がい者からともにへの相談ケースも増加傾向にあり、常に情報を共有する等、連携を取っている。 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 住民福祉課 |
| | | 村内で障がい者の人たちが気軽に通える場所の確保や、情報提供に努めます。 | | | R3年度より、障がい者スポーツ支援センター松本主催のサンまつスポーツクラブinきそを木祖村社会体育館で実施し、開催にあたり参加周知、申請受付、参加者の送迎等協力している。コロナ禍により外出も制限される中、スポーツを通して交流を深めている。 | － | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。<br><br>効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 | 住民福祉課 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | デイケアをはじめとした精神障がい者施策及び地域で生活するための精神障がいへの理解を深めるための啓発活動などに努めます。 | | | コロナ禍により、計画に沿った取り組みが出来ていない。 | 未実施 | C | 効果は十分ではない部分があるが、施策の内容や方向性は良いと思うため引き続き取組を実施してほしい。 | 住民福祉課 |
| | | 木曽病院の通院や、生活支援のための足として、福祉有償運送や福祉タクシー・デマンド交通などの利便性の向上を図ります。 | | | R3年度に公共交通の見直しを実施し、R4年度からの利用料金値下げし、活用の推進を図った。 | － | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。 | 総務課 |
| | 安全、安心の地域づくり（道路・交通） | コミュニティバスなどについて、利用者の要望を取り入れながら、効率的な運行を随時、研究していきます。 | | | 過去の利用実績をもとにダイヤの再編を行った。 | － | B | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じるため。<br><br>施策の内容や方向性は良いが十分な効果が得られていないため、内容の見直しが必要であると感じる。 | 総務課 |
| | | 運転免許証自主返納者への更なる対策を研究し、自主返納をしても安心して生活できる生活基盤を構築します。 | | | 高齢者で運転免許証返納した方にについては3年間無料の定期券を発行している。<br>郡内の状況をみると回数券の補助があり、郡内の中でも住民によりそった補助ができてきる。 | － | A | 十分な効果を得られるため、引き続き取り組んでいくべきと感じる。 | 総務課 |